

経済・政策・法律



キーワード：行政経営、価値共創、地域連携

自治体経営改革と地域の価値共創に関する実践的研究

経営学部 経営学科 准教授

坂元 英毅 SAKAMOTO Hideki

研究の内容

自治体の行財政運営と、多様な主体が連携して公共サービスの価値を共に創る仕組みについて研究しています。

第一に、自治体の公会計制度・行政評価・予算編成を対象に、「行政サービスのコストや成果を住民に伝わる形で示し、政策判断に活かす」ための手法を研究しています。政令指定都市で14年間、予算編成や財政情報開示、公会計制度改革の実務に携わった経験と、英国の自治体改革との国際比較研究を組み合わせ、行政評価を予算や住民説明にどう結びつけるかを探っています。

第二に、行政・NPO・企業・住民といった多様な主体がどのように連携すれば、地域にとって本当に価値ある活動やサービスを生み出せるのかを研究しています。行政評価や財政情報を、行政内部の管理ツールにとどめず、NPOや住民との対話の共通言語として活用する可能性に着目しています。

これまで複数の自治体で行財政改革委員会や外部評価委員会の委員、NPO支援組織の運営アドバイザー等を務めてきました。今後は大学近隣の自治体や地域団体との新たな連携も積極的に進めていきたいと考えています。



大分県の過疎地域での地域交流実践



西宮YMCAとの連携小学生デイキャンプ

産学連携・社会連携へのアピールポイント

行政の財政・評価の仕組みと、地域の現場で何が起きているかの両方がわかることが強みです。職員向け研修やNPOの事業評価、計画策定のワークショップなど、共同研究に限らない柔軟な連携が可能です。学生参加型の地域プロジェクトの実績もあり、調査・実践の双方からお手伝いできます。まずは気軽にご相談ください。

大学HP教員紹介（坂元 英毅）

URL：<https://www.setsunan.ac.jp/faculty/teacher/detail/438>

